ADVANCED PROGRAM

第 24 回 ITS シンポジウム 2026 札幌

「次世代モビリティ社会を拓く ITS」

– データ×AI による地域レジリエンス向上に向けて –

https://www.its-jp.org/katsudou/its_symposium/24th2026/

2026 年 11 月 12 日（木）～13 日（金）

札幌市教育文化会館

〒060-0001 北海道札幌市中央区北 1 条西 13 丁目

来場受付　1 階 小ホール前	メイン会場　1 階 小ホール	ポスター会場 3 階および 4 階

11 月 12 日（木）

9：30 開場

10:00-10:10	開会式　メイン会場

ITS Japan 会長　**山本 圭司**

実行委員長　**吉井 稔雄**　北海道大学 公共政策大学院 教授

10:10-10:15	はじめに　メイン会場

プログラム委員長　**有村 幹治**　室蘭工業大学 大学院工学研究科 もの創造系領域 土木工学ユニット 教授

10:20-11:05	基調講演（45 分）自動運転のまち・上士幌が描く未来 ～次世代モビリティによる持続可能な地域づくり～　メイン会場

北海道上士幌町は、地域交通の維持確保に留まらないまちづくりのプロジェクトとして「自動運転の社会実装」を推進している。地域に存在する官民データを活用し、行政サービスと民間サービスを連携させることで、住民一人ひとりに寄り添った新たな地域サービスの創出を目指している。本講演では、自動運転を核とした地域交通改革の取組に加え、データ連携基盤「かみしほろルーラル OS」の活用、デジタル技術を活用した持続可能なスマートタウン構想について紹介する。

キーノートスピーカー　**竹中 貢**　北海道 上士幌町 町長

11:05-11:15	休憩（10 分）

11:15-11:40	対話セッション 1（A・B・C）　ショットガン　メイン会場

＊付きの論文はジャーナル(International Journal of ITS Research)に投稿された査読付き論文です。二重掲載を避けるため、シンポジウムではプレプリント（査読前論文）を掲載します。

対話セッション 1　ポスター発表　11:40-13:00（80 分）

1-A	自動運転の認知・判断・車両制御	ポスター会場 A（4 階）

モデレータ：**江丸 貴紀**　北海道大学 大学院工学研究院 機械・宇宙航空工学部門 准教授

竹田 雅弘　トヨタ自動車株式会社 デジタル情報通信本部 情報通信企画部 ITS 推進室 プロフェッショナル・パートナー

1-A-01　エッジケース抽出と追加学習に基づく車載ミリ波レーダのデータドリブン開発手法
近藤 勝彦, 木虎 宏輝, 赤峰 悠介(株式会社 SOKEN), 秋田 時彦(電動モビリティシステム専門職大学)

1-A-02＊　自動運転における危険なシナリオを評価するためのハイブリッド手法
易 得心, 市瀬 龍太郎(東京科学大学)

1-A-03＊　レベル 4 オーナーカー適用を想定した ODD 限定 SD マップの仕様整理と Fail-safe 設計
小林 啓之(SCSK 株式会社)

1-A-04　自動運転のための自転車の乗り手の向きを用いた右左折予兆検知と移動予測
武田 京馬, 渡辺 陽介, 山田 峻也, 高田 広章(名古屋大学)

1-A-05　自動運転レベル 3 における道路環境およびドライバ状態を考慮した TOR 最適化手法の検討
内田 怜, 山田 宗男(名城大学)

1-A-06＊　スクリュー理論に基づく独立サスペンションの幾何学的解析と車両運動制御への応用
王 威(東京大学), Raksincharoensak Pongsathorn(東京農工大学), 中野 公彦(東京大学)

1-A-07　未知の走行環境におけるエンドツーエンド自動運転のリアルタイム適応手法の検証
高野 陽太郎, 廖 振宇, 小野 晋太郎(福岡大学)

1-A-08　時系列 LiDAR を用いた統合的物体検出と行動予測：部分観測に対する頑健性の検討
Bok Yunsoo, 針屋 慶吾, 福田 有輝也, 米陀 佳祐, 菅沼 直樹(金沢大学)

1-A-09　自動運転のための LiDAR 点群とカメラのセマンティック情報を用いた動的 3 次元占有ボクセル地図の構築
黄 柏臻, 大前 学(慶應義塾大学)

1-A-10　能動的路側情報融合に基づく歩行者横断開始予測手法の検討
佐野 嵩斗, Alparslan Onur, 佐藤 健哉(同志社大学)

1-A-11　歩行者の横断意図推定に向けた姿勢推定モデルの性能評価
青木 悠真, 山田 峻也, 本田 晋也(名古屋大学)

1-A-12　見通しの悪い交差点における交通参加者特性を考慮した自動運転バスの目標速度算出法
加賀谷 龍史, 澤登 太一, 吉武 宏(東京科学大学), 松浦 由惟, 瀬川 雅也(先進モビリティ株式会社), 小竹 元基(東京科学大学)

1-B	協調型 ITS・V2X と自動運転インフラ	ポスター会場 B（3 階）

モデレータ：**川村 武**　北見工業大学 工学部情報通信系 准教授
塚田 悟之　株式会社本田技術研究所 SDV 研究開発センター チーフエンジニア

1-B-01　V2X 情報通信プラットフォームにおける位置プライバシ保護機構の実装と評価
竹内 僚祐(株式会社クレスコ), 渡辺 陽介, 山田 峻也(名古屋大学), 佐藤 健哉(同志社大学), 高田 広章(名古屋大学)

1-B-02　路車協調に基づくレベル 4 自動運転バスの踏切通行安全システムに関する研究
高田 哲也, 長澤 弘之, 阿久津 渉了(株式会社京三製作所), 中野 公彦(東京大学)

1-B-03　高速道路における合流支援情報提供システムの基本性能評価
古市 卓巳, 山本 大貴, 酒井 博司, 中川 敏正(国土交通省国土技術政策総合研究所)

1-B-04　一般道での路車協調システムの基本性能の評価
酒井 博司, 山本 大貴, 古市 卓巳, 中川 敏正(国土交通省国土技術政策総合研究所)

1-B-05＊　路車協調による路側機向け物体検出学習データの自動生成手法
山田 峻也, 平野 学宜, 渡辺 陽介, 高田 広章(名古屋大学)

1-B-06　路車間通信を用いた踏切の安全対策の有効性評価結果について
山中 雅司(西日本旅客鉄道株式会社), 鈴木 崇士(広成建設株式会社), 早川 英志, 利根川 涼, 布谷 恭佑(株式会社トヨタシステムズ), 半田 悟, 田中 翔太, 坪井 佑介(一般財団法人道路新産業開発機構)

1-B-07　都市間高速における自動運転トラックへの合流支援情報提供の有効性検証
山本 大貴, 古市 卓巳, 酒井 博司, 中川 敏正(国土交通省国土技術政策総合研究所)

1-B-08　積雪寒冷地における ITS を活用した自動運転バス向け路車協調の実証と有用性評価
中山 大地, 高味 亮太, 渕上 翔志, 橘 奎伍, 船岡 直樹, 光安 皓, 野沢 龍太郎(パシフィックコンサルタンツ株式会社), 平 記好, 角張 弘幸, 大場 北斗(国土交通省北海道開発局)

1-B-09　協調型 E2E 自動運転のためのミリ波を利用した統合センシング通信手法の検討
小林 孝広, 佐藤 健哉, Alparslan Onur(同志社大学)

1-B-10　モジュラーE2E 自動運転における走行計画寄与度に基づく V2X 共有情報選択手法の検討
角田 直仁, 佐藤 健哉, Alparslan Onur(同志社大学)

1-B-11　セマンティック通信を用いた車両隊列の局所・集中切替制御
山家 颯太, 橋本 和宗(大阪大学)

1-B-12　統合型交通制御システムとフィールド試験実施に関する報告
阿久津 渉了, 長澤 弘之, 髙田 哲也(株式会社京三製作所)

1-B-13　首都高速道路における自動運転技術を活用したドライバーへの安全運転支援に向けた取り組み
及川 裕介, 遠藤 学史, 柳澤 伸明(首都高速道路株式会社)

1-B-14　協調型自動運転のための情報通信プラットフォーム DM2.0 のオープンソース化 ～共通プラットフォームを利用した交差点情報提供および駐車場マネジメントの実装と検証～
渡辺 陽介, 草山 真一, 山田 峻也(名古屋大学), 佐藤 健哉(同志社大学), 高田 広章(名古屋大学)

1-B-15　遠隔 AI サーバを活用した自動運転車の発進判断における路側カメラ映像の有効性評価
冨田 智輝, 大前 学(慶應義塾大学)

1-B-16　実交通環境下での路車間通信による公共車両の速達性及び利便性向上効果の検証
江尻 賢治, 大貫 正明, 須田 義大(東京工科大学), 山口 大助(交通安全環境研究所), 植田 慎, 前岡 孝, 池田 翔(広島電鉄株式会社), 西野 孝晴, 森井 紀裕, 松本 和也(中電技術コンサルタント株式会社)

1-C	HMI・ドライバ特性と運転行動・受容	ポスター会場 C（4 階）

モデレータ：**梶原 逸朗**　北海道大学 大学院工学研究院 知的構造システム研究室 教授
牧 昌弘　パナソニックオートモーティブシステムズ株式会社 R&D 企画センター 技術渉外室 室長

1-C-01　DS 実験に基づく車室内温度が運転挙動に及ぼす影響の分析
八十島 将, 塩見 康博, 李 明香(立命館大学)

1-C-02＊　異なる自動運転システムの利用経験が初期信頼および運転行動に及ぼす影響
LI Xintong, CUI Zixin(筑波大学), ZHOU Huiping(一般財団法人日本自動車研究所), Itoh Makoto(筑波大学)

1-C-03＊　ロボット eHMI はドライバーの視線を再現できるか？ロボット eHMI による視線提示が人間ドライバーの合流判断に及ぼす影響
佐伯 英日路(筑波大学), 加藤 航太郎, 志堂寺 和則(九州大学)

1-C-04＊　加減速モーションキューと運転中の主体感および脳活動ダイナミクスの関連：ドライビングシミュレータを用いた探索的検討
後藤 愛美, 森 滉一郎, 廣安 知之, 日和 悟(同志社大学)

1-C-05＊　混在交通における効果的なコミュニケーションに必要な eHMI の構成要素の検討：手動運転車ドライバーの視点での調査
加藤 航太郎(九州大学), 佐伯 英日路(筑波大学), 志堂寺 和則(九州大学)

1-C-06　生体磁気刺激によるドライバ居眠り抑止手法の持続効果の検証
久保田 湧斗, 山田 宗男(名城大学)

1-C-07　眼球運動と運転行動に基づくドライバー認知負荷の個人適応型推定
Hong Jiwan, Wang Wei, Onuki Masaaki, Nakano Kimihiko(東京大学)

1-C-08＊　加齢による脳の処理能力低下が車両走行速度に与える影響に関する基礎的検討
福井 千菜美, 吉井 稔雄(北海道大学)

1-C-09　生体信号を用いた歩行者の飛び出し、フェイントに対する運転者の危険判断の推定
倉智 健太, 峯 恒憲(九州大学)

1-C-10　機械・人間インターフェース（HMI）の視点からみたアクセル・ブレーキ検知表示装置(ABOiD)の効果
小栗 幸夫, 関水 信和, 岩倉 洋平, 小倉 直巳(株式会社 Soft Mobility Initiative)

1-C-11　自車前方への割り込みを計画している車両が提示する eHMI と車両挙動がドライバに与える影響
玉利 勇児(九州大学), 佐伯 英日路(筑波大学), 志堂寺 和則(九州大学)

1-C-12　交通混雑および車載 HMI 情報提示条件におけるドライバの行動変容分析
Zhang Cunyu, Wang Wei, Onuki Masaaki, Nakano Kimihiko(東京大学), Takata Tetsuya(株式会社京三製作所)

1-C-13　緩減速制御における介入方式がドライバの行為主体感に及ぼす影響
谷口 瑞樹, 伊藤 誠, 齊藤 裕一(筑波大学)

1-C-14　自動運転レベル 4 の多車両遠隔監視における AI 支援の有効性と AI 機能要件 ：遠隔監視者への定性調査結果と分析
櫻田 玲子, 市川 風我, 小堀田 良子, 明石 和綺, 山本 健吾, 金 智之(NTT ドコモビジネス株式会社)

1-C-15　対向車のパッシングと車両挙動に基づくドライバの意図解釈
影島 航一郎(九州大学), 佐伯 英日路(筑波大学), 志堂寺 和則(九州大学)

1-C-16＊　レベル 4 自動運転トラックの追い越し失敗が後続車両に及ぼす影響の評価
金澤 想太, 山邉 茂之(岩手県立大学)

13:00-14:20	昼休み（80 分）

14:20-14:45	**対話セッション 2（A・B・C）　ショットガン**　メイン会場

＊付きの論文はジャーナル(International Journal of ITS Research)に投稿された査読付き論文です。二重掲載を避けるため、シンポジウムではプレプリント（査読前論文）を掲載します。

対話セッション 2　ポスター発表　14:45-16:05（80 分）

2-A	**交通安全・事故リスクと安全支援**	ポスター会場 A（4 階）

モデレータ：**鈴木 雄**　北海道大学大学院 工学研究院 准教授
四辻 裕文　国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 主任研究員

2-A-01＊　深層学習による高速道路の短期事故リスク予測における学習データ量とクラス不均衡の影響
坪田 隆宏(愛媛大学), 吉井 稔雄(北海道大学), Xing Jian(NEXCO 総研)

2-A-02＊　複数の視点による運転者間の異質性を考慮した異常運転検知手法に関する研究
宮内 弘太(一般財団法人計量計画研究所), 斎藤 るな, 新井 涼真, 高田 和幸(東京電機大学)

2-A-03　無信号交差点の事故リスク評価のための見通し視野角推定手法の高精度化
後藤 紳一郎, 伊藤 誠(筑波大学)

2-A-04　PLATEAU3D 都市モデルと JARTIC 交通規制データを用いた一時停止行動評価用ドライビングシミュレータの開発
高橋 功太郎, 合志 和晃, 隅田 康明, 林 政喜(九州産業大学), 松永 勝也(九州大学)

2-A-05　機械学習モデルを用いた工事規制部におけるリスク評価および予測
上畑 旬也(中日本高速道路株式会社), 平井 章一, 櫻井 光昭, 堀田 光太郎, 小林 理久(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社), 大宮 博之(株式会社道路計画)

2-A-06＊　自動運転車における運転者の足の動き検出に基づく緊急ブレーキアシストシステム
岡部 陸, Tanev Ivan(同志社大学)

2-A-07　既存トンネル照明を活用した逆走車両注意喚起システムの感覚評価
山本 浩司, 舌間 貴宏, 豊田 誠(中日本高速道路株式会社)

2-A-08　AI カメラ及び発光・音声を活用した新たな歩行者等立入対策の試行
隠田 歩乃加, 鈴木 誠, 小川 寛久, 佐々木 花衣, 岡田 篤弥(首都高速道路株式会社), 福島 賢一, 江刺 宏紀(株式会社福山コンサルタント), 井口 拓馬, 辻 航太(セフテック株式会社)

2-A-09　路側カメラを用いた踏切保安システムのための障害物検知および歩行者の踏切通過予測アルゴリズムの構築
秋葉 裕輝, 杉町 敏之(東京都市大学), 中野 公彦(東京大学), 高田 哲也, 長澤 弘之(株式会社京三製作所)

2-A-10　AI 物体検出技術を活用した事故映像分析手法の改良検討
小暮 佑亮(首都高技術株式会社), 柳沼 秀樹(東京理科大学), 伊藤 稔, 田嶋 眞樹, 原島 亮汰(首都高速道路株式会社), 林 由宇, 荒屋 大虎, 江森 唯(首都高技術株式会社)

2-A-11＊　機械学習を用いた事故類型別の ETC2.0 由来急減速事象と交通事故との関係分析
兵頭 知(徳島大学), 塩川 新太郎(国土交通省), 奥嶋 政嗣(徳島大学)

2-A-12　ビジョンゼロを確実に実現する自動運転社会のデザイン –定量的ルール・動機づけ・多主体参画による 2040 年シナリオ–
小路 泰広(NPO 自転車活用推進研究会、クルマ社会を問い直す会)

2-A-13　タクシーGPS 走行データを用いた右左折行動の識別と道路交通リスク評価への展開
増井 崇人, 峯 恒憲(九州大学)

2-A-14　地域特性の違いを考慮した交通事故件数の予測
北里 天, 植村 匠, 尾島 修一(崇城大学)

2-B	交通流解析・シミュレーションと交通制御	ポスター会場 B（3 階）

モデレータ：**吉井 稔雄**　北海道大学 公共政策大学院 教授
高橋 歩夢　株式会社ドーコン 防災保全部 グループ長

2-B-01　道路ネットワークのモード分離への適用に向けたグラフニューラルネットワークによる利用者均衡配分の代理モデルの検討
加藤 直樹, 石井 明, 菊池 恵和, 菅原 宏明(八千代エンジニヤリング株式会社)

2-B-02＊　低混入率 GNSS コネクティッドカー軌跡のみを用いた信号交差点の渋滞密度と飽和流率の推定：東京での実データを用いた検証
瀬尾 亨(東京科学大学), 日下部 貴彦(ソーシャル・デザイナーズ・ベース), 大口 敬(東京大学)

2-B-03＊　メタ安定状態を考慮した交通流シミュレーションモデルによる交通流の再現
鈴木 貴大, 野本 直弥(沖電気工業株式会社), 藤井 秀樹(東京大学), 越川 博昭(沖電気工業株式会社)

2-B-04＊　グリッドロック現象における閉路の位置依存性と動的選択性：離散ヘルムホルツ・ホッジ分解と有効ベッチ数による特徴付け
後藤 弘光, 岩岡 浩一郎(金沢学院大学)

2-B-05＊　都市渋滞解析のための探索的時空間フレームワーク ー空間クラスタリングと時間エントロピーを統合ー
坪井 務(一般社団法人移動行動イノベーションフォーラム), 大島 創, 水上 美香(株式会社リデグ)

2-B-06＊　非定常状態における Stochastic Link Transmission Model のための二項待ち行列近似
木村 大吾, 藤井 秀樹(東京大学)

2-B-07＊　コネクテッドカー浸透率の変化に伴う交通信号制御手法 PRESTO の性能評価
髙橋 孝太朗, 西村 浩二(広島大学)

2-B-08　LRT 高頻度運行を実現する信号制御パラメータの逐次調整方法
須藤 紗葵(日本信号株式会社), 永井 一乃介(東北大学), 井料 隆雅(東京大学), 佐津川 功季(東北大学)

2-B-09　マルチモーダル都市交通システムの分散最適化のために動学解析
三木 隆斗, 井料 隆雅(東京大学)

2-B-10　経路選択を考慮した分散型信号制御の効率的なスプリット更新法
冨矢 航大, 井料 隆雅(東京大学)

2-B-11＊　交通信号制御成熟期における自己進化型交通信号制御プラットフォームの提案
塚田 悟之(株式会社本田技術研究所)

2-B-12　ＡＩを活用した奈良中心市街地の渋滞対策に向けた取り組み
早田 真大, 村上 智哉(国土交通省近畿地方整備局), 古谷 隆之, 山口 修平, ティルトム フセイン(日本工営株式会社)

2-B-13　歩行者制約を考慮した信号交差点における強化学習エージェント制御
SAHACHAISEREE Somporn, TORIUMI Azusa, OGUCHI Takashi(東京大学)

2-B-14＊　A Data-Driven Demand-to-Simulation Framework for Signal Timing Evaluation at Urban Intersections
Chikara ENDO, 劉 星委, Yacine Abdoulaevna CAMARA, 武藤 慎一 (山梨大学), 佐々木 邦明(早稲田大学)

2-C	モビリティデータ・AI による交通分析・予測	ポスター会場 C（4 階）

モデレータ：**山下 倫央**　北海道大学 情報基盤センター 知識創成基盤部門 特任教授
瀬尾 亜希子　パシフィックコンサルタンツ株式会社 北海道支社 社会イノベーション事業部 交通政策室 室長

2-C-01　AI による料金収受システムの故障予測に関する研究
大崎 尚人, 武田 圭太(高速道路トールテクノロジー株式会社)

2-C-02　ETC2.0 プローブデータのオープン化に向けた基礎調査
森 洸斗, 鈴木 大健, 青木 優汰(国土交通省国土技術政策総合研究所), 杉山 貴教(阪神高速道路株式会社), 中川 敏正(国土交通省国土技術政策総合研究所)

2-C-03　ETC2.0 プローブデータの合理的な処理手法に関する一考察

福岡 純一, 今野 新, 森 洸斗(国土交通省国土技術政策総合研究所), 杉山 貴教(阪神高速道路株式会社), 中川 敏正(国土交通省国土技術政策総合研究所)

2-C-04＊ 道路ネットワーク統合の正解ラベリングに向けた能動学習：新潟 KSJ カスケードにおける方策間比較
Peque Genaro Jr. (LocationMind Inc.)

2-C-05＊ LLM を活用した大雪時の短期交通速度予測：道路の静的データと動的な交通・気象情報のデータ融合アプローチ
猪井 博登, 松田 勲直, 秋山 祐樹(富山大学)

2-C-06 民間向け ETC2.0 簡易型路側機の活用範囲拡大に向けた取り組み
半田 悟, 田中 翔太, 渡辺 直明, 坪井 佑介(一般財団法人道路新産業開発機構), 神納 大輝(株式会社長大)

2-C-07 プローブデータを用いた JCT 周辺の交通流予測手法
岡野 謙悟, 越川 博昭(沖電気工業株式会社)

2-C-08 深層学習を用いた首都高速道路における所要時間予測の高度化
繁田 昂治朗, 増田 智志, 板橋 遼, 遠藤 光晟(首都高速道路株式会社), 林 由宇, 小暮 佑亮(首都高技術株式会社), 立澤 智春(パシフィックコンサルタンツ株式会社)

2-C-09 新世代交通調査プラットフォームの提案
塚田 悟之(株式会社本田技術研究所), 清水 真人(株式会社アーバントラフィックエンジニアリング)

2-C-10 AI 画像解析で生成した車両軌跡データの補正・補完について
太田 秀平(株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング), 丸石 浩一(東日本高速道路株式会社), 山崎 洋大(株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング), 林 由翔, 梅田 祥吾, 塩田 朋史(株式会社オリエンタルコンサルタンツ)

2-C-11 高分解能 V2X プローブを用いた都市高速道路突発事象検知の高度化に関する研究
高橋 義隆(首都高速道路株式会社), 岡野 孝司(一般財団法人首都高速道路技術センター), 佐藤 哲也, 上仲 才哉子(株式会社交通総合研究所)

2-C-12 生成 AI を用いた旅行速度分析におけるプローブデータの入力仕様に関する一考察
住吉 諒(法政大学), 山本 雄平(大阪産業大学), 松島 敏和(中央復建コンサルタンツ株式会社), 豊辺 将嘉(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社), 金井 翔哉(法政大学大学院（日本工営株式会社）), 李 浩, 今井 龍一(法政大学)

2-C-13 自動車交通量調査のための生成 AI による教師データ拡張手法の開発
高橋 弥生(法政大学), 山本 雄平(大阪産業大学), 中原 匡哉(大阪電気通信大学), 住吉 諒(法政大学), 神谷 大介(琉球大学), 今井 龍一(法政大学)

2-C-14* 人口動態の集計データに対するテンソル分解を用いた都市交通結節点の人口統計学的特徴の抽出
Noviansyah Alvin, 宇野 伸宏, 松中 良治, 西垣 友貴(京都大学)

16:05-16:15	休憩（10 分）

16:15-17:30	**企画セッション 1（75 分）**　エネルギーとモビリティ ～これからの省エネ ITS～　メイン会場

エネルギー安全保障への関心が高まる中、モビリティ分野における省エネルギー化は重要な政策課題となっている。特に、ITS 技術の進展により、交通流の最適化、自動運転、車両間通信、データ連携などを通じたエネルギー消費削減の可能性が広がっている。本セッションでは、エネルギー政策とモビリティ政策を横断的に捉え、省エネ社会の実現に向けた ITS 技術の役割と課題について議論する。

モデレータ：

吉井 稔雄　北海道大学 公共政策大学院 教授

パネリスト：

杉山 大志　キヤノングローバル戦略研究所　研究主幹

金成 修一　一般財団法人日本自動車研究所 環境研究部　環境総合評価グループ グループ長 主任研究員

花岡 伸也　東京科学大学 環境・社会理工学院 融合理工学系 教授

17:30-18:00	移動（30 分）

18:00-19:30	バンケット（参加者レセプション）　北海道庁旧本庁舎 赤れんが庁舎 （シンポジウム会場から徒歩 15～20 分）

北海道札幌市中央区北 3 条西 6 丁目 1 番地　　11 月 12 日（木） 18：00 開宴
バンケット参加費：6,000 円

11 月 13 日（金）

9：00 開場

9:30-10:45	企画セッション 2（75 分）　積雪寒冷地における自動運転 ～北海道の挑戦～　メイン会場

全国でも高齢化の進展が早く、広域分散型社会を有する北海道は、特に地方部で公共交通の衰退が進行しており、日常の移動を自家用車に依存せざるを得ない地域が多い。自動運転技術は、将来の経済活動・日常生活を支える重要な要素のひとつと考えられる。道路交通法改正により自動運転レベル 4 に向けた制度整備も行われるなど、ロードマップに基づいた取組は着実に進められている。しかしながら、積雪寒冷な環境に対する研究開発については十分に進んでいるとはいえない状況にある。本セッションでは，自動運転技術を広範に利用可能とする環境の構築に向けて、積雪寒冷下での課題の抽出や現状の共有をとおして、今後の課題について議論する。

モデレータ：
萩原 亨　北海道大学 名誉教授 / 北海道道路管理技術センター 顧問
パネリスト：
岡部 定勝　A-Drive 株式会社 代表取締役社長
江丸 貴紀　北海道大学 大学院工学研究院 機械・宇宙航空工学部門 准教授
高橋 翔　北海道大学 大学院工学研究院 土木工学部門・先端モビリティ工学研究室・准教授

10:45-10:55	休憩（10 分）

10:55-11:20	対話セッション 3（A・B・C）　ショットガン　メイン会場

＊付きの論文はジャーナル(International Journal of ITS Research)に投稿された査読付き論文です。二重掲載を避けるため、シンポジウムではプレプリント（査読前論文）を掲載します。

対話セッション 3　ポスター発表　11:20-12:40（80 分）

3-A	画像・センシングによる交通モニタリング	ポスター会場 A（4 階）

モデレータ：**江丸 貴紀**　北海道大学 大学院工学研究院 機械・宇宙航空工学部門 准教授
齊田 光　国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 主任研究員

3-A-01　高速道路における LiDAR を用いた交通量計測の検証
今野 晋, 矢澤 秀樹(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社), 髙岡 直実, 内海 健男, 井出 光紀, 肥田 祐一(コイト電工株式会社)

3-A-02　昼夜に対応した高速道路上の監視カメラからの道路領域検出
古瀬 太晟, 佐治 斉(静岡大学)

3-A-03　高速道路監視カメラ映像における注目領域移動処理を用いた道路解析
小林 光, 佐治 斉(静岡大学)

3-A-04　降雪時に強い高速道路上の車両検知手法
山根 千春, 佐治 斉(静岡大学)

3-A-05　道路領域を用いた夜間高速道路上の車両検出
平原 和泉, 佐治 斉(静岡大学)

3-A-06　昼夜間のドライブレコーダー映像を用いた車間距離・車両速度推定
渡邊 千遥, 佐治 斉(静岡大学)

3-A-07　FTM に基づく Dual-Role integrated AP を用いた屋内実環境における測距性能評価
金川 竜大, 間邊 哲也(埼玉大学)

3-A-08　非走査型 ToF センサを用いた 3 次元 RGB 点群による性能とプライバシー保護を両立した人物追跡
大川 彪(埼玉大学), 中村 智宣(SCIVAX 株式会社), 塩田 達俊, 間邊 哲也(埼玉大学)

3-A-09　路面電車環境におけるカメラ画像を用いた分岐器検出に関する予備的研究
Hovanotayan Supatat, Wang Wei, Nakano Kimihiko(東京大学), Takata Tetsuya(株式会社京三製作所), Ueda Makoto, Sakakidani Kazuya, Maeoka Takashi(広島電鉄株式会社)

3-A-10　スマートフォンの高度情報を活用した首都高上の自車位置特定技術に関する検討
山田 晃瑠, 岡部 翔太, 井上 七海(首都高速道路株式会社), 江森 唯, 仁村 真子, 土屋 克典(首都高技術株式会社)

3-A-11　路面電車環境におけるカメラ画像を用いた分岐器検出
ホーワノータヤーン スパタット, 王 威, 中野 公彦(東京大学), 髙田 哲也(株式会社京三製作所), 植田 慎, 前岡 孝(広島電鉄株式会社)

3-A-12＊　ラベル付き学習データを用いずに道路映像から非通常走行車両を検出する機械学習手法
井本 翔一朗, 高橋 翔, 吉井 稔雄(北海道大学)

3-B	道路維持管理・冬期交通と災害レジリエンス	ポスター会場 B（3 階）

モデレータ：**日野 智**　北海学園大学 工学部社会環境工学科 教授
永田 泰浩　一般社団法人北海道開発技術センター

3-B-01　商用車プローブデータを活用した道路損傷個所の推定
田中 準二, 荒木 龍二, 芝崎 康平, 菅原 清, 勝亦 崇, 紺野 克也(矢崎エナジーシステム株式会社)

3-B-02　大雪による車両立ち往生が交通に及ぼす影響の評価手法の提案
川崎 洋輔(日本大学), 原 祐輔(東京大学), 大石 晃, 菊池 幸(東北地方整備局)

3-B-03＊　札幌都市圏における雪害時のテレワーク型交通需要マネジメント（TDM）および優先除雪のマクロ交通シミュレーション
Okumura Kota, Hosoki Kyo, Kiriki Shumpei, Kurobuchi Kosei, Arimura Mikiharu(室蘭工業大学)

3-B-04＊　外部検証を用いた画像ベース冬期道路狭窄状態推定のための動的ソフトラベル学習
Wang Chang, 高橋 翔, 吉井 稔雄(北海道大学)

3-B-05　コネクテッド車両データを用いた冬用タイヤ装着状態推定に関する分析
望月 修斗(本田技研工業株式会社)

3-B-06＊　姿勢固定 SfM と二次曲面フィッティングを利用した単眼カメラによる 3D ポットホール計測
安永 忠幸, 松田 航汰, 竜田 尚希, 神亀 理恵, 土屋 泰樹, 堀田 裕弘(富山大学)

3-B-07　気象データを用いた運搬排雪量の推定手法
村田 晴彦, 富田 真(土木研究所寒地土木研究所)

3-B-08　AHB（自動ハイビーム）作動ログを用いた夜間道路照明評価手法の提案
村瀬 進哉(トヨタ自動車株式会社)

3-B-09＊　携帯電話人口統計データを用いた洪水被害額推計の可能性
田中 絢, Syandriaji Diva, 倉内 文孝, 中村 俊之(岐阜大学), 髙木 朗義(Co-Innovation University)

3-B-10　トンネル火災時における拡声放送設備を用いた走行中車両の停車誘導手法の検討
小川 陽平, 礒部 圭隆(首都高速道路株式会社), 菅野 桂子, 梅田 祥吾(株式会社オリエンタルコンサルタンツ), 栫 笑璃(株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング), 横山 栄, 小林 知尋(一般財団法人小林理学研究所)

3-B-11　コネクテッド車両の加減速操作・挙動データを用いた冬期路面状態評価の基礎的検討
杉本 佳昭(本田技研工業株式会社)

3-B-12＊　冬期道路デジタルツインのデータ提示システムにおけるユーザインタフェースの評価手法
黒郷 渓育, 高橋 翔, 吉井 稔雄(北海道大学)

3-B-13　気象条件とポットホール発生件数の関係分析に基づくリスク指標の検討
三田 樹, 安永 忠幸, 神亀 理恵, 土屋 泰樹, 竜田 尚希, 堀田 裕弘(富山大学)

3-B-14＊　気象データを用いた XGBoost に基づく冬期道路における旅行時間推定
前田 周星, 高橋 翔, 吉井 稔雄(北海道大学)

3-B-15＊　街路交通安全対策の仮想評価のための Web ベース拡張現実感システムの構築
中野 柊風, 佐藤 颯汰, 結城 光太郎, 廖 振宇(福岡大学), 井料 美帆(名古屋大学), 菅野 桂子, 梅田 祥吾, 渡部 数樹, 竹平 誠治(株式会社オリエンタルコンサルタンツ), 小野 晋太郎(福岡大学)

3-C	公共交通・MaaS とデマンド交通	ポスター会場 C（4 階）

モデレータ：**鈴木 雄**　北海道大学大学院 工学研究院 准教授
大井 元揮　一般社団法人北海道開発技術センター 地域政策研究所 交通政策部 部長

3-C-01＊　Waymo 乗車体験による自動運転タクシーの受容性の変化 - 日本の若年層を対象とした探索的事前・事後調査分析 -
樋笠 尭士(多摩大学), 中川 智皓(大阪公立大学), Wang Peggy(University of California, Berkeley)

3-C-02　Google トレンドを利用したコミュニティバス「こまくる」の OD 需要予測
向 直人, 中山 結衣, 堀 涼(椙山女学園大学)

3-C-03＊　ReRAPTOR：時間予算制約下で価値を最大化する公共交通旅程計画のための逆目的 RAPTOR
ZHOU BIN, Li Guangxian(九州大学), Ogo Teruki(九州産業大学), Arakawa Yutaka, Mine Tsunenori(九州大学)

3-C-04＊　二輪車依存都市におけるメトロ中心型 Mobility-as-a-Service の導入障壁：二輪車保有と通勤パターンの役割
Viet Cung Hong, 藤原 章正, Pham Son Van(広島大学)

3-C-05　デマンド交通への定時性付与が輸送効率に及ぼす影響に関するシミュレーション評価 ～愛知県高蔵寺ニュータウンを対象に～
森田 一平, 水野 杏菜(一般財団法人計量計画研究所), 羽佐田 紘之(東京大学/一般財団法人計量計画研究所), 北村 清州(一般財団法人計量計画研究所), 落合 純一(株式会社未来シェア), 金森 亮(名古屋大学)

3-C-06　既存業務のデジタル化と一体で捉える、路線バスにおける自動運転の社会実装に関する検討 – 「公共交通事業の DX 推進コンソーシアム」の活動を通じて –
野沢 龍太郎, 光安 皓, 今川 高嶺, 安藤 慎悟(パシフィックコンサルタンツ株式会社), 三浦 鉄也(公共交通事業の DX 推進コンソーシアム事務局), 長束 晃一(東急バス株式会社), 米本 貴一(京浜急行バス株式会社), 久保田 充男(株式会社 NKB), 西山 敏樹(東京都市大学)

3-C-07　商用 GPS データを活用した自動運転タクシー導入の事業性に関する試算
山下 慎二, 田代 広行(日本工営株式会社), 森下 和之(株式会社 Spatial Pleasure), 藪崎 琳太郎, 大皿 陽康(日本工営株式会社)

3-C-08　IC カードデータに基づくユーザーの典型的利用を考慮したバス路線網評価
髙山 周平(東京大学/阪急阪神ホールディングス株式会社), 日下部 貴彦(阪急阪神ホールディングス株式会社/東京大学), 中居 楓子, 関本 義秀(東京大学)

3-C-09　バス専用レーンの一般車両利用に向けたバス接近通知距離のシミュレーション評価
小林 玄武(富士ソフト株式会社), 山田 峻也, 渡辺 陽介(名古屋大学), 黒原 知秋(富士ソフト株式会社), 佐藤 健哉(同志社大学), 高田 広章(名古屋大学)

3-C-10　自動運転カーシェアリングサービスにおける利用受容性のモニタリング – 韓国・華城市リビングラボの事例研究 –
KIM Sung Won, HONG Sungmin(The Hwaseong Institute), KIM Tagyoung, MAENG Jooyoung, KANG Kyeong-Pyo(Korea Transport Institute)

3-C-11　中山間地域における交通再編に向けたデマンド交通実証の展開 – 養父市関宮地域における 2023～2025 年度の取組み –
淺田 崇之, 松田 慈雨, 高重 佳里, 國弘 由比, 平岡 敏洋, 鎌田 実(一般財団法人日本自動車研究所)

3-C-12　GTFS を用いた設置者自身でカスタマイズ可能なバスサイネージシステムにおける表示設定支援
寸田 和輝(公立はこだて未来大学), 伊藤 昌毅(東京大学), 奥野 拓(公立はこだて未来大学)

12:40-13:50	昼休み（70 分）

13:50-14:15	対話セッション 4（A・B・C）　ショットガン　メイン会場

＊付きの論文はジャーナル(International Journal of ITS Research)に投稿された査読付き論文です。二重掲載を避けるため、シンポジウムではプレプリント（査読前論文）を掲載します。

対話セッション 4　ポスター発表　14:15-15:35（80 分）

4-A	人流・交通行動と歩行者・自転車モビリティ	ポスター会場 A（4 階）

モデレータ：**鈴木 雄**　北海道大学大学院 工学研究院 准教授
瀬尾 亜希子　パシフィックコンサルタンツ株式会社 北海道支社 社会イノベーション事業部 交通政策室 室長

4-A-01　**キャンセル**

4-A-02＊　PMV の運動パラメータが歩行者の安心感に与える影響に関する研究
西﨑 孝, 中川 智皓(大阪公立大学)

4-A-03＊　ETC2.0 プローブデータを用いた地域内回遊行動分析とスポット間移動関係の可視化に関する研究
隅田 康明, 林 政喜, 合志 和晃(九州産業大学), 松永 勝也(九州大学)

4-A-04　歩行コンテクストが歩行行動に及ぼす影響に関する基礎的検討 –丸の内仲通りを対象とした映像解析–
長谷川 悠(東京大学)

4-A-05＊　自転車走行環境評価に向けたプローブ自転車による離隔距離を含むヒヤリハットの推定と特徴量分析
高野 真(埼玉大学), 松本 修一(文教大学), 間邊 哲也(埼玉大学)

4-A-06　移動計画サービスの利用データを用いた行動モデルの構築
兒玉 崇(阪神高速道路株式会社), 小島 悠紀子(阪神高速技研株式会社), 大藤 武彦(株式会社交通システム研究所)

4-A-07　BLE 蓄積データと来園者予測を用いた公園内回遊フォアキャストシミュレーションの開発と施策評価への活用
小宮 粋史, 一瀬 恭平, 花房 比佐友, 堀口 良太(株式会社アイ・トランスポート・ラボ)

4-A-08　交通系 IC カードデータを用いた大雨に関連する交通行動の変化に関する分析
矢野 誠悟, 長谷川 悠, 大口 敬(東京大学)

4-A-09　プローブデータを用いた地区内街路ネットワークの分析：街路階層を考慮して
永嶋 颯斗, 鳥海 梓, 羽佐田 紘之, 大口 敬(東京大学)

4-A-10　unerry データを用いた工事規制時行動変容分析
尾関 尚弥, 田畑 大(首都高速道路株式会社), 深井 靖史(株式会社道路計画)

4-A-11＊　GPS 軌跡データとマクロな分布統計データの融合による多様な日の観光周遊行動の推定
竹内 陸, 山口 裕通(金沢大学)

4-A-12＊　TOD 地区における都市環境は滞在活動にどのような影響を与えるのか–大規模携帯電話データを用いた空間分析–
Bo Xueqing,西内 裕晶(高知工科大学), 鈴木 雄(北海道大学)

4-A-13　歩道空間におけるすれ違い対象の違いが歩行者の行動および心理評価に及ぼす影響 –自律走行型配達ロボットとの共存に向けた基礎的検討–
丹 文哉(九州大学), 佐伯 英日路(筑波大学), 志堂寺 和則(九州大学

4-A-14　道路脇カメラ画像における基盤モデルを用いた自転車乗車・押し歩き状態の判別手法の検討
菊池 恵和, 菅原 宏明, 石井 明, 作田 莉子(八千代エンジニヤリング株式会社)

4-A-15＊　複数のモビリティデータによるトリップチェイン推定手法の構築
村瀬 柊哉(元岐阜大学), 中村 俊之, 倉内 文孝(岐阜大学), 桑原 昌広(トヨタ自動車株式会社)

4-B	高速道路交通マネジメント	ポスター会場 B（3 階）

モデレータ：**峪 龍一**　北海道大学大学院工学研究院 土木工学部門 交通ネットワーク解析学研究室 准教授
前田 哲哉　国土交通省 北海道開発局 道路計画課　道路調査専門官

4-B-01　全車両軌跡データによる車線変更挙動分析と渋滞対策効果予測 –阪神高速 4 号湾岸線下り三宝～大浜間の事例–
飛ヶ谷 明人, 片岡 佑太, 北中 幸輝, 松尾 悠(阪神高速道路株式会社), 中田 寛臣, 水野 翔太, 木下 将大(阪神高速技研株式会社), 牛場 高志(株式会社ニュージェック)

4-B-02　コネクティッドカーデータの分析による ACC 利用の渋滞発生への影響の評価
北岡 広宣(トヨタ自動車株式会社)

4-B-03　車両 ID 保持が可能な民間プローブデータを活用したバイパス開通前後の交通流動の変容把握に関する分析
森本 清誠, 立松 秀樹, 中野 宏俊(株式会社オリエンタルコンサルタンツ), 小原 拓也(トヨタ自動車株式会社)

4-B-04　ミクロ交通シミュレーションによる車種別の ACC 普及状況を考慮した交通状況予測分析 －東名（下）横浜町田 IC～綾瀬スマート IC を対象としたケーススタディー
水野 恵太, 西川 洋介, 大竹 智貴, 中沢 航太, 中堀 千嘉子(中日本高速道路株式会社), 石田 貴志(株式会社道路計画), 甲斐 慎一朗(株式会社アイ・トランスポート・ラボ), 中林 悠, 野中 康弘(株式会社道路計画)

4-B-05　都市内高速道路におけるレーダークルーズコントロールの作動状況と車間時間に関する基礎分析
小原 拓也(トヨタ自動車株式会社), 森本 清誠, 田中 淳(株式会社オリエンタルコンサルタンツ)

4-B-06　高速道路のインセンティブ付き事前利用登録システムに関する検討
会津 宏幸(株式会社 東芝)

4-B-07＊　ミクロ交通流シミュレーションを用いた都市高速道路における渋滞吸収走行と動的車線変更規制の相乗効果分析
濱本 賢治(宮崎大学), 嶋本 寛(岐阜大学)

4-B-08＊　名古屋高速道路の並行路線における交通需要偏在の要因分析
安藤 広斗, 中村 俊之, 倉内 文孝(岐阜大学), 須川 清諒, 中山 裕昭(名古屋高速道路公社)

4-B-09　CAN データを用いた高速道路分岐部における本線はみ出し推定手法
戸井田 風音, 相馬 嵐史(首都高速道路株式会社), 早田 政博, 梅田 祥吾, 柏 祐樹, 羽成 沙彩(株式会社オリエンタルコンサルタンツ)

4-B-10＊　断面交通流データを用いたトンネル内事故検知：3 種類の AID モデルの比較評価
水野 裕介(株式会社 Function), 安田 昌平(神戸大学/株式会社 Function), 福田 和輝, 石原 雅晃(株式会社 Function)

4-B-11　NEXCO 東日本の次世代高速道路実証実験について
野沢 祐太, 丸石 浩一, 石川 龍洋, 小林 朋幸, 清水 達, 加藤 昭紀, 後村 実広(東日本高速道路株式会社)

4-B-12＊　高速道路の工事区間におけるレベル 4 自動運転トラックの社会的受容性評価
山邉 茂之, 桑原 暖人 (岩手県立大学)

4-C	エネルギー・物流と次世代モビリティ	ポスター会場 C（4 階）

モデレータ：**大島 伸行**　北海道大学院工学研究院 機械・宇宙航空工学部門 宇宙システム工学分野 教授
竹田 雅弘　トヨタ自動車株式会社 デジタル情報通信本部 情報通信企画部 ITS 推進室 プロフェッショナル・パートナー

4-C-01　太陽光発電蓄電充電インフラを備えたディーゼル電気混在型公共交通システムの持続可能性評価のための統合的枠組み
Arnold BILIKI, Nakayama Shoichiro, Tsumita Noriyasu(金沢大学)

4-C-02　交通流対策および自動車の最適利用を考慮した長期 CO2 排出量推計手法の開発（第 3 報）
金成 修一(一般財団法人日本自動車研究所), 小鹿 健一郎(独立行政法人交通安全環境研究所), 平井 洋(一般財団法人日本自動車研究所)

4-C-03　高速道路上の給電施設の情報提供が利用者の満足度、行動に与える影響の把握
仲嶋 紗那, 根津 佳樹, 橋本 浩良(国土交通省国土技術政策総合研究所)

4-C-04　車載型重量計による車両重量情報を活用した大型車モニタリングの仕組みの構築に向けた一考察
青木 優汰, 鈴木 大健, 中川 敏正(国土交通省国土技術政策総合研究所)

4-C-05　広域 WIM データを用いた車種別重量分布特性の基礎分析
久保 愛華, 西田 秀志, 佐藤 尚良, 中尾 慎一, 那須 貴旭(オムロンソーシアルソリューションズ株式会社)

4-C-06＊　AIS データの軌跡に基づいたリザバーコンピューティングによる港湾混雑の動的予測
船戸 未月(株式会社 Function), 安田 昌平(神戸大学/株式会社 Function), 久保 亘, 福田 和輝(株式会社 Function)

4-C-07　再生可能エネルギー発電の変動緩和を目的とした電気自動車導入に関する最適化手法の検討
JEE HYUNGSUB, SCHMOECKER JAN-DIRK(京都大学), 朝倉 康夫(一般社団法人システム科学研究所), 坂井 勝哉(大阪大学)

4-C-08＊　電動キックボード利用時の情報表示が運転行動に及ぼす影響
高橋 聡(名古屋電機工業株式会社), 菅沼 睦, 樋笠 尭士, 新西 誠人(多摩大学), 内田 和宏, Mecklosky Benjamin, 岩田 君彦(名古屋電機工業株式会社)

4-C-09＊　港湾混雑の予測可能性がコンテナ船の運航スケジューリングに及ぼす影響の定量分析 –深層強化学習によるアプローチ–
樋口 煌乃(株式会社 Function), 安田 昌平(神戸大学/株式会社 Function), 福田 和輝(株式会社 Function)

4-C-10　UAV-Trajectory Simulation and Calibration of Scooter Seepage in Weak-Lane Discipline Mixed Traffic
Patcharamontree Peerapat(東京大学 / Chulalongkorn University), Sahachaiseree Somporn, Torimi Azusa, Oguchi Takashi(東京大学)

4-C-11　無線給電ドローンのための信号時相論理による仕様駆動型軌道計画
芹澤 和伸, 橋本 和宗(大阪大学)

4-C-12　山間部路線を対象とした EV コミュニティバスの走行シミュレーションの検討
國保 修弥, 松田 航汰, 土屋 泰樹, 堀田 裕弘(富山大学)

15:35-15:45	休憩（10 分）

15:45-17:00	**企画セッション 3（75 分）**　気象災害全般と ITS を活用したレジリエンス　メイン会場

近年、全国各地で線状降水帯による大雨、ゲリラ豪雨、台風、豪雪などの気象災害が激甚化・頻発化しており、交通や物流、地域経済に深刻な影響を及ぼしている。本セッションでは気象災害に対する社会・交通システムのレジリエンス向上をテーマに ITS を活用した防災・減災のあり方について議論する。気象予測、防災情報、交通データ、プローブデータ等の活用による状況把握や、災害時の交通マネジメント、地域との連携による迅速な対応などを取り上げる。気象・交通・地域政策の各分野の視点から気候変動時代に求められる持続可能で強靭な社会システムの構築に向けた方向性を探る。

モデレータ：
有村 幹治　室蘭工業大学 大学院工学研究科 もの創造系領域 土木工学ユニット 教授

パネリスト：
藤原 章正　広島大学大学院先進理工系科学研究科 特任教授
橋本 幸　一般社団法人北海道開発技術センター 理事長
今井 希依　日本気象協会北海道支社 気象予報士

17:00-17:15	休憩（15 分）

17:15-17:45	**閉会式（30 分）**　メイン会場

・プログラム委員長総評　**有村 幹治**　室蘭工業大学 大学院工学研究科 もの創造系領域 土木工学ユニット 教授
・ベストポスター賞授与
・次期プログラム委員長挨拶　**小野 晋太郎**　福岡大学 工学部電子情報工学科 准教授

第 24 回 ITS シンポジウム 2026

主催：	特定非営利活動法人 ITS Japan
共催：	北海道大学、室蘭工業大学
協賛：	公益社団法人 計測自動制御学会，一般社団法人 交通工学研究会，公益社団法人 自動車技術会，一般社団法人 情報処理学会，一般社団法人 人工知能学会，一般社団法人 電気学会，一般社団法人 電子情報通信学会，公益社団法人 土木学会，一般社団法人 日本機械学会，日本交通心理学会，一般社団法人 日本ロボット学会，自動車技術会 モビリティ社会部門委員会，情報処理学会 高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会，情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会，電気学会 ITS 技術委員会，電子情報通信学会 高度交通システム研究会
実行委員長	吉井 稔雄　北海道大学 公共政策大学院 教授
プログラム委員長：	有村 幹治　室蘭工業大学 大学院工学研究科 もの創造系領域 土木工学ユニット 教授
プログラム委員会：	江丸貫紀(北海道大学)，大島伸行(北海道大学)，梶原逸朗(北海道大学)，川村武(北見工業大学)，鈴木雄(北海道大学)，瀬尾亜希子(パシフィックコンサルタンツ株式会社)，高橋歩夢(株式会社ドーコン)，高橋翔(北海道大学)，竹田雅弘(トヨタ自動車株式会社)，峪龍一(北海道大学)，永田泰浩(一般社団法人北海道開発技術センター)，日野智(北海学園大学)，本田肇(国土交通省北海道開発局)，牧昌弘(パナソニックオートモーティブシステムズ株式会社)，四辻裕文(国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所)，山下倫央(北海道大学)
参加登録料	論文発表　一般 15,000 円 / 学生 8,000 円（論文投稿料含む） 聴講（会員）　11 月 4 日まで 15,000 円→11 月 5 日以降 18,000 円 （非会員）　11 月 4 日まで 20,000 円→11 月 5 日以降 23,000 円 （学生）　3,000 円

特定非営利活動法人 ITS Japan
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル
TEL 03-5777-1011 / FAX 03-3434-1755 / Email its-symposium@its-jp.org